

広報ほんべつ

本割

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2015
October
No.1044

10月

表紙

町内外から約4万1000人が来
場した「ほんべつきらめきタ
ウンフェスティバル2015」



マイナンバー

通知カードの送付が始まります

マイナンバー 通知カードの送付が始まります

社会保障・税番号制度の導入に伴い、社会保障や税、災害対策に使用するマイナンバー（個人番号）をお知らせする「通知カード」が10月5日以降、住民登録をしている住所の世帯ごとへ簡易書留にて順次送付されます。（転送はされません）

送付時には、「通知カード」と個人番号カードを作成するための「個人番号カード交付申請書兼電子証明書発行申請書」が1組となって送付されますので、通知カードは用紙から切り離して使用してください。



マイナバーキャラクター
マイナちゃん

通知カードとは？

通知カードとは、住民の皆さんにマイナンバー（個人番号）をお知らせする紙製カードで、マイナンバーのほか、住所、氏名、生年月日、性別等が記載されており、平成28年1月以降、役場等の行政機関の窓口で提示を求められたときに使用します。通知カードには顔写真の表示がないため、手続きの際には、本人確認を行うために運転免許証等の書類の提示が同時に必要となります。また、転入・転居等住所変更の手続きの際には、カード面の住所を訂正しますので、必ずご持参ください。

通知カードは大切に保管しましょう

個人番号（マイナンバー）は、生涯にわたって使用するものであり、将来的に社会保障や税関係などさまざまな手続きの際に必要となりますので、大切に保管してください。

紛失等の場合は再交付の手続きが必要で、手数料が1枚につき500円かかります。

個人番号カードを作成すると便利！

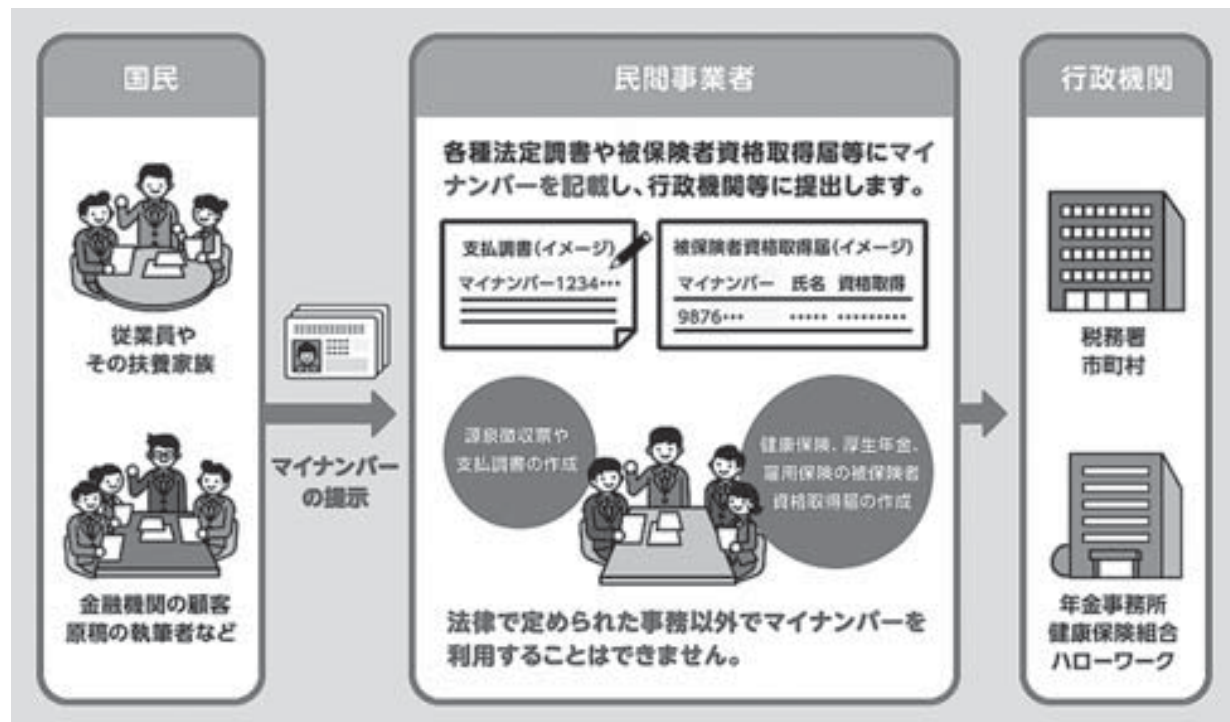
個人番号カードは、プラスチック製のICチップ付きカードで、通知カード同様にマイナンバー（個人番号）や氏名などが記載されており、本人の顔写真等も表示されます。行政機関等の手続きの際には、顔写真が表示されているので、運転免許証などの身分証明書を提示する必要がなく、このカード1枚で済ませることができるほか、e-Tax等の電子申請等が行える電子証明書も搭載されています。

個人番号カードが必要な人は、通知カード送付時に同封されている交付申請書に必要事項を記入し、顔写真を貼付の上、返信用封筒に入れて郵送してください。また、インターネットを利用し、パソコンやスマートフォン等による申請もできます。

※個人番号カードは、平成28年1月から交付が開始されます。交付手数料は無料です。

民間事業者の皆さんもマイナンバーを取り扱います

平成28年1月以降、税や社会保障の手続きで従業員などのマイナンバーを記載する必要があります。個人情報を守るため、マイナンバーは、法律で定められた範囲以外での利用が禁止されており、また、その管理にあたっては安全管理が義務付けられます。

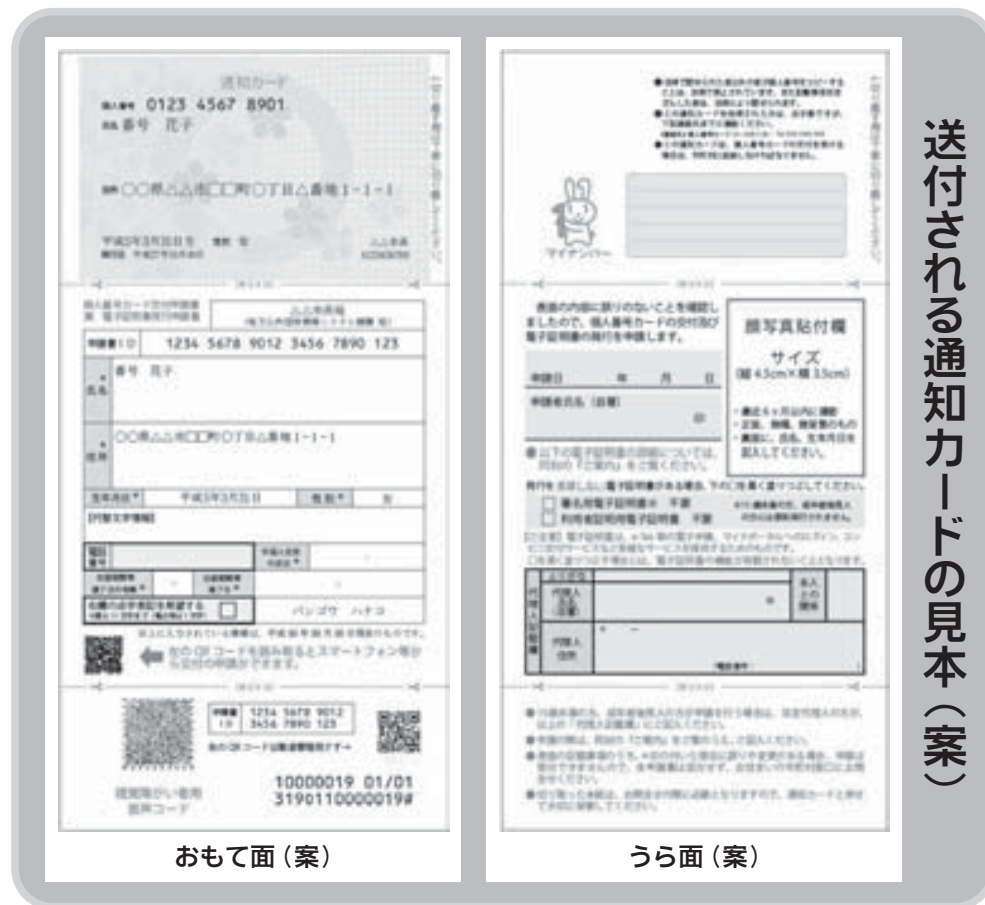


マイナンバー制度に便乗した不正な勧誘 および個人情報の搾取にご注意ください

マイナンバー通知前に、マイナンバー制度に関して行政機関等から手続きを求めることはありません。

問い合わせ

- 住民課戸籍年金担当 ☎ 22-8128
- 内閣官房マイナンバーコールセンター ☎ 0570-20-0178
全国共通ナビダイヤル 午前9時30分～午後5時30分（土日祝日・年末年始を除く）



平成27年度 本別町

開町記念式典

功労者表彰 受賞者の皆さん（五十音順）



木下登美夫 さん
北2丁目3番地7

昭和57年に本別消防団第1分団入団以来、現在まで33年の長きにわたり、地域の火災および治安の維持に貢献されている。この間、班長、部長、副分団長、分団長を歴任し、分団の連絡調整ならびに団員相互の融和に努められ、団の組織強化発展に尽くされた功績により、日本消防協会会長表彰、北海道知事表彰などを受賞されている。

また、本別町商工会青年部長、本別町商工会理事、本別ポイントカード組合理事長として、地域経済と商工業の振興に努められ、これらの功績により、北海道商工会連合会長表彰、全国商工会連合会長表彰を受賞されている。

これらの活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



町民憲章を朗唱する参加者



受賞者を代表して謝辞を述べる畑山一洋さん



高橋正夫町長（右）から賞状と記念品を授与される功労者



平成27年度本別町功労者の皆さん

本別町開町記念日の9月15日、山手町の頌徳碑前で「開拓功労者謝恩祭」が、中央公民館で平成27年度「開町記念式典」が執り行われました。

式典では、関係者など約70人が出席し町民憲章の朗唱、黙とうに続いて高橋正夫町長が「農業の取り巻く情勢は、いまだ内容が明らかにならないTPP交渉で、聖域とされた分野がなし崩しにされる恐れがあり、基幹産業とするわが町には図り知れない大きな課題となっています。引き続きオール北海道、オール十勝で連携し、農業を守るため強力な運動を展開する所存であります。また、本年3月に道東自動車道が白糠まで開通するなど、道央圏、道東圏が一本の線で結ばれようとしており、本町が大きく発展する機会と捉え、農業、商工業が一体となった取り組みの推進を図るなど、先人より受け継いだ不屈の開拓精神を遺憾なく発揮し歩み続ける所存であります」と式辞を述べ、長年にわたり町の発展のためご尽力された13人の功労者を表彰しました。引き続き、方川一郎町議会議長が祝辞を送り、受賞者を代表して畑山一洋さんが「今日の感激を肝に銘じ、微力ながら本別町の発展のため、より一層の努力をしてまいります」と謝辞を述べました。



献花



開拓功労者謝恩祭の様子

開拓功労者 謝恩祭

9月15日午前9時30分から山手町の頌徳碑前で「開拓功労者謝恩祭」が開かれ、開拓功労者八翁をたたえ、ご冥福を祈念し、出席者全員で献花を捧げました。

開拓功労者八翁

東 條 儀三郎 翁	鈴 木 勝太郎 翁	新 津 繁 松 翁	幕 内 小太郎 翁	岡 崎 公 一 翁	井 出 英 作 翁	荒 深 四郎 翁	前 田 金 四郎 翁
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	------------



小泉伸一さん
西仙美里125番地18

昭和56年7月に本別町農業委員会委員に就任、以来4期12年の長きにわたり、農用地の利用調整に努められ、地域農業の振興と農業者の地位向上に貢献された。この間、本別町開拓農協監事、本別町農業協同組合監事などを歴任され、更に、北海道農業共済組合連合会損害評価会委員として23年の長年にわたり尽くされた功績により、北海道農業共済組合連合会長表彰を受賞された。

これらの活動を通じ本町農業の発展に寄与された功績は誠に顕著である。



貞本康尚さん
勇足120番地18

昭和51年に本別消防団第2分団入団以来、退団される本年まで39年の長きにわたり、地域の火災および治安の維持に貢献された。この間、班長、部長、副分団長、分団長を歴任し、分団の連絡調整ならびに団員相互の融和に努められ、団の組織強化発展に尽くされた功績により、日本消防協会会長表彰、北海道知事表彰などを受賞されている。

これらの活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



對馬憲二さん
北5丁目6番地12

平成2年に本別消防団第1分団入団以来、現在まで25年の長きにわたり、地域の火災および治安の維持に貢献されている。この間、班長に拝命され、献身的に防災防圧活動一筋に専念され、消防団の運営発展に尽くされた功績により、北海道消防協会会長表彰、北海道知事表彰などを受賞されている。

これらの活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



藤野勇二さん
北4丁目3番地16

昭和54年に本別消防団第1分団入団以来、平成25年に退団されるまで33年の長きにわたり、地域の火災および治安の維持に貢献された。この間、班長、部長を歴任し、献身的に防災防圧活動一筋に専念され、消防団の運営発展に尽くされた功績により、日本消防協会会長表彰、北海道知事表彰などを受賞されている。

これらの活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



松井敏明さん
西美里別83番地15

平成5年7月に本別町農業委員会委員に就任、以来4期12年の長きにわたり、農用地の利用調整に努められ、地域農業の振興と農業者の地位向上に貢献された。この間、本町の農業後継者に広く配偶者を求め、農業経営意欲を推進するための農業青年配偶者対策に積極的に尽力された。

これらの活動を通じ本町農業の発展に寄与された功績は誠に顕著である。



矢野邦夫さん
勇足元町19番地13

昭和54年に本別消防団第2分団入団以来、現在まで36年の長きにわたり、地域の火災および治安の維持に貢献されている。この間、班長、部長、副分団長、分団長、副団長を歴任し、分団の連絡調整ならびに団員相互の融和に努められ、団の組織強化発展に尽くされた功績により、日本消防協会会長表彰、北海道知事表彰などを受賞されている。

これらの活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



故土藏一朗さん
西美里別317番地8

昭和60年10月に本別町教育委員会委員に就任、以来3期12年の長きにわたり、委員長職務代理者を努めるなど、生涯学習の推進や豊かな人間性を育む教育の推進を図るなど、風土に調和した個性と文化の創造に取り組まれた。特に教育環境の充実のため、平成5年の本別中学校校舎改築をはじめ、老朽化した教員住宅の整備を進めるなど、施設の環境整備・充実に貢献された。

これらの活動を通じ、本町教育行政の推進、振興に寄与された功績は誠に顕著である。



西尾訓一さん
勇足34番地3

平成8年7月に本別町農業委員会委員に就任、以来4期12年の長きにわたり、農用地の利用調整に努められ、地域農業の振興と農業者の地位向上に貢献された。この間、平成11年から平成20年までは会長として、農地行政の適正な執行に努め、その卓越した指導力を発揮され、農業委員会の円滑な運営に尽力された。

これらの活動を通じ本町農業の発展に寄与された功績は誠に顕著である。



畑山一洋さん
北6丁目6番地2

平成15年8月に本別町代表監査委員に就任、現在4期目を迎え長年にわたり、本町の財務事務をはじめ経営事業管理など、事務の執行について、公正かつ能率的な運営のための助言、指導など、極めて大きい義務と責任を果たされ、地方分権の実現に尽力をいただき、これらの功績により十勝町村等監査委員協議会表彰、北海道町村等監査委員協議会表彰などを受賞された。

これらの活動を通じ本町行政の発展に寄与された功績は誠に顕著である。



山田静夫さん
美里別617番地1

平成2年7月に本別町農業委員会委員に就任、以来4期12年の長きにわたり、農用地の利用調整に努められ、地域農業の振興と農業者の地位向上に貢献された。この間、平成8年から平成11年までは会長代理として、会長を補佐する立場で農地行政の適正な執行に努めるとともに、農業委員会の円滑な運営に尽力された。

これらの活動を通じ本町農業の発展に寄与された功績は誠に顕著である。



山西輝美さん
押帯479番地6

平成14年7月に本別町農業委員会委員に就任、現在5期目を迎え長年にわたり、農用地の利用調整に努められ、地域農業の振興と農業者の地位向上に貢献されている。この間、平成20年から現在まで、会長として農地行政の適正な執行に努め、その卓越した指導力を発揮され、農業委員会の円滑な運営に尽力されている。

これらの活動を通じ本町農業の発展に寄与された功績は誠に顕著である。



若木佳則さん
美蘭別427番地4

平成12年1月に本別町教育委員会委員に就任、以来3期12年の長きにわたり、生涯学習の推進や豊かな人間性を育む教育の推進に取り組まれた。この間、平成20年から平成24年まで教育委員長として、教育行政の先頭に立ち、教育環境の充実に献身的に努められた功績により全国市町村教育委員会連合会教育功労者表彰を受賞されている。

これらの活動を通じ本町教育行政の推進、振興に寄与された功績は誠に顕著である。



歌謡ショー



両日とも好天に恵まれ、今年も本別産食材を使ったメニューなどを提供するうまいもの市や友好都市小松島市物産市、包括連携協定を結ぶ白糠町物産市などたくさんのお店がずらりと並び賑わいを見せたほか、1日目には、秋の夜空に4500発の花火が大輪を咲かせた東十勝花火大会、2日目は、水森かおりさん、成底ゆう子さん、はやぶささんが出演する歌謡ショーや戦隊ショー、ポニーばんばレースなど多彩な催しが展開され、来場者を楽しませました。

この他会場内では、子供たちに人気のふわふわランドや両日ともイベントの最後に開催された豪華景品の当たるお楽しみ抽選会などが行われ、町内外から家族連れや友人グループなど約4万1000人が来場し、初秋のほんべつで見て、食べて、飲んで、遊んで、たくさんイベントを満喫しました。

**来場者約4万1000人、
初秋のほんべつを満喫**

今年で19回目を迎えた、本別の最大のイベント「ほんべつきらめきタウンフェスティバル2015」(実行委員会主催)が9月5日、6日の2日間、利別川河川敷地特設会場で開催されました。

**ほんべつきらめき
フェスティバル2015**



本別建設業二世会の皆さん



毎年、歌謡ショーなど各種イベントを開催しているメインステージを、本別建設業二世会（三村智勝会長）の会員の皆さんにより、建築用足場板で設営。イベント終了後には撤去作業のボランティアを実施していただきました。



斉藤井出建設の皆さん



斉藤井出建設（斉藤和之社長）の職員の皆さんにより、地域貢献活動の一環として、老朽化したステージ床板を新しく作成し設置していただきました。



実行委員会の皆さん



実行委員会の皆さんには、総会や部会など約5回の打ち合わせのほか、テントなどの会場設営作業や当日のイベント運営、会場撤去作業にご尽力いただきました。

イベントを支える人たち

今年の「ほんべつきらめきタウンフェスティバル」も大盛況で終わることができました。このイベントの成功は、実行委員の皆さんはもとより、町内の企業、団体、町民の皆さんが、準備から運営、会場撤去作業などにご協力いただいた結果です。このページでは、会場設営作業等、ボランティアでご協力いただいた皆さんを紹介いたします。

出店業者の皆さん



イベント開催2日目の9月6日の早朝および終了後の7日、出店業者の皆さんにより会場内のゴミ拾いボランティアを実施していただきました。



ほんべつきらめきタウンフェスティバル2015 終了御礼

9月5日、6日利別川河川敷地特設会場で開催いたしました第19回ほんべつきらめきタウンフェスティバル2015には、十勝管内をはじめ、道内外から大変多くの皆さんにご来場いただき、誠にありがとうございました。2日間で約41,000人にご来場いただき、大盛況にて終わることができました。イベントにご理解、ご協力賜りました多くの企業、団体、協賛各社と会場周辺の町内会、住民の皆さんに改めて心より感謝を申し上げ、終了のあいさつといたします。

本別きらめきタウンフェスティバル実行委員会 会長 野田 仁



野田組の皆さん



野田組（野田仁社長）の職員の皆さんにより、地域貢献活動の一環として、イベント会場周辺の草刈および駐車場の区画割り作業を行っていただきました。

鎌田建設工業の皆さん



鎌田建設工業（鎌田健治社長）の職員の皆さんにより、地域貢献活動の一環として雨漏りのひどかったステージ屋根を、プラスチック製の波板で張り替えていただきました。

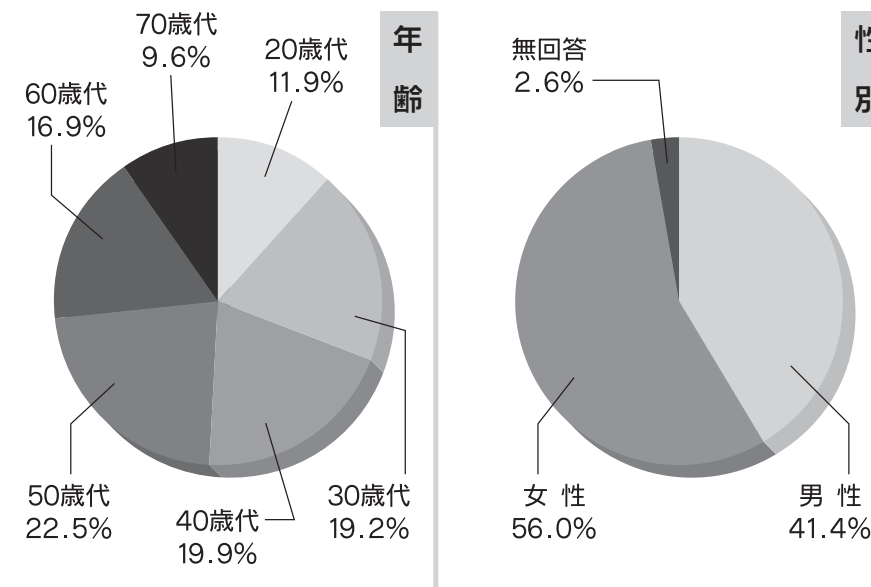


人口減少に歯止めを「44.7%」！ 地方創生に関する町民アンケートの結果がまとまりました

町では町民の皆さんと共に、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある地域を維持していくため、今後5か年の目標や具体的な施策をまとめた「本別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に向けた取り組みを進めています。

今回は、本別町内に居住する20歳以上の1,000人を対象に実施した「地方創生に関する町民アンケート調査」の集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

問1 回答者の性別・年齢



調査対象と調査方法

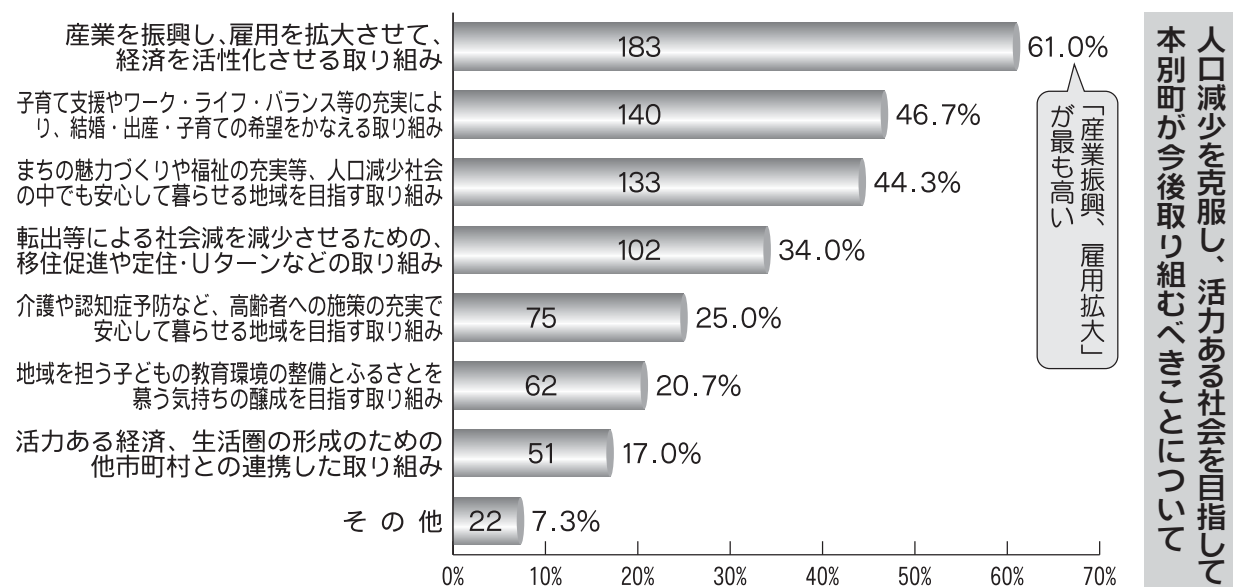
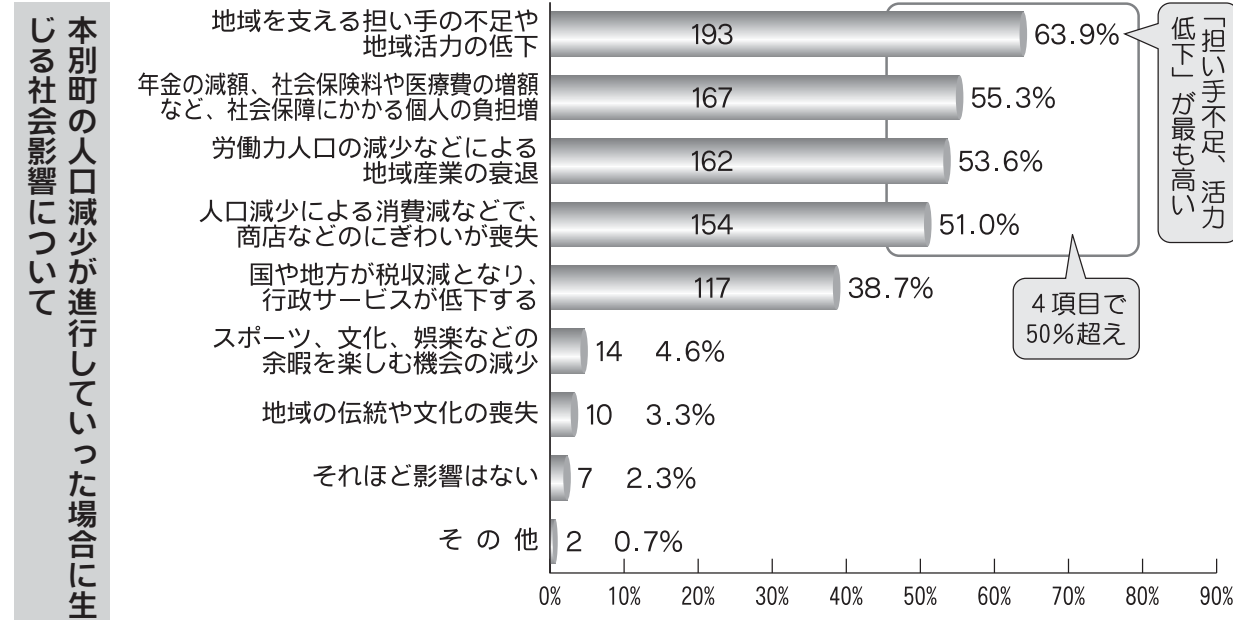
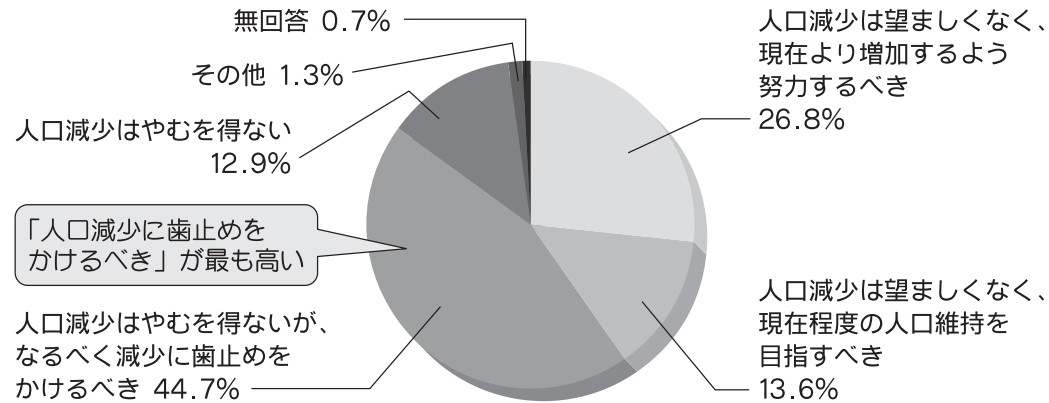
調査対象：本別町内居住で20歳以上の1,000人を抽出（20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳以上の年齢5階層に対し、男女各100人、計1,000人を対象）
実施時期：平成27年6月

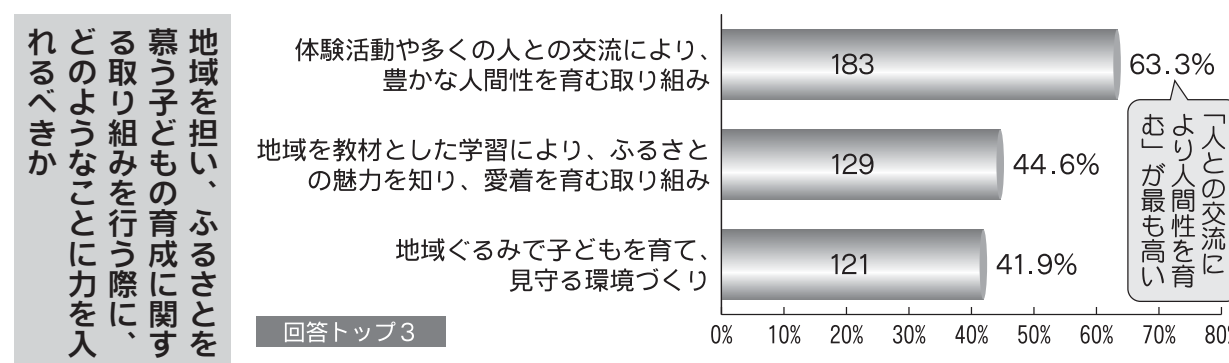
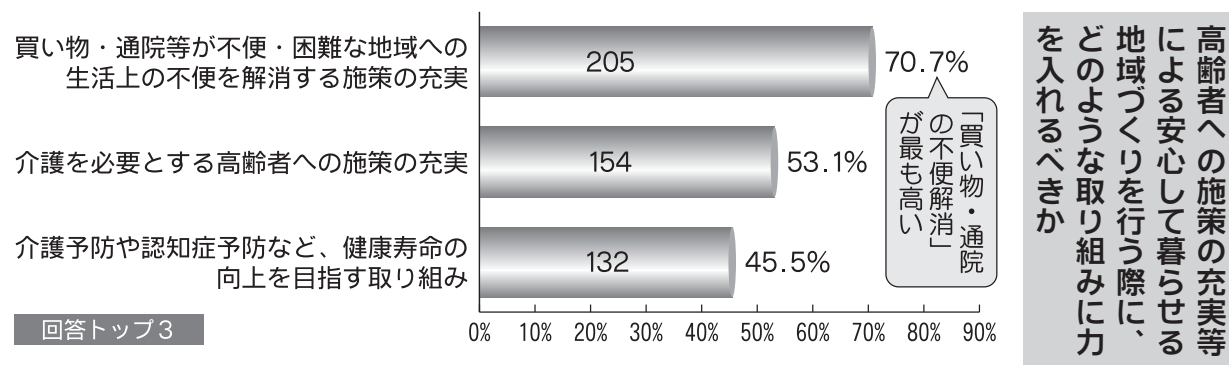
回収率

配布数：1,000人
回収数：302人
回収率：30.2%

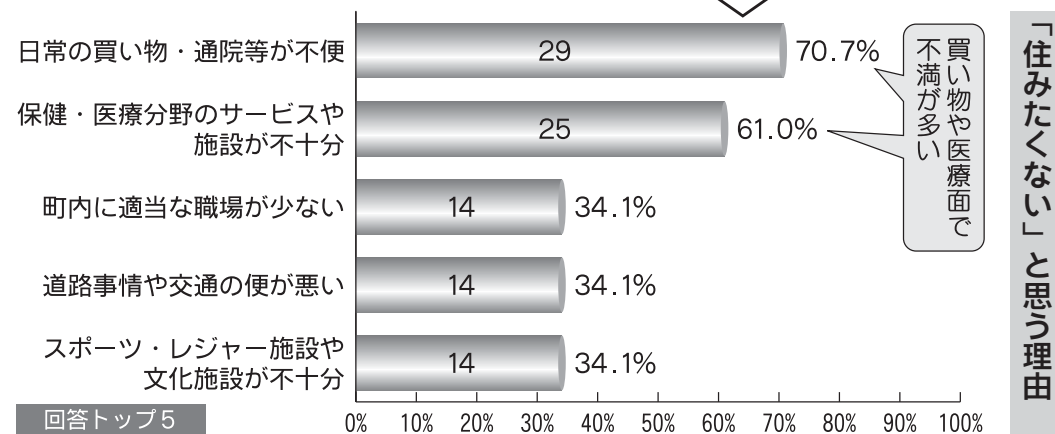
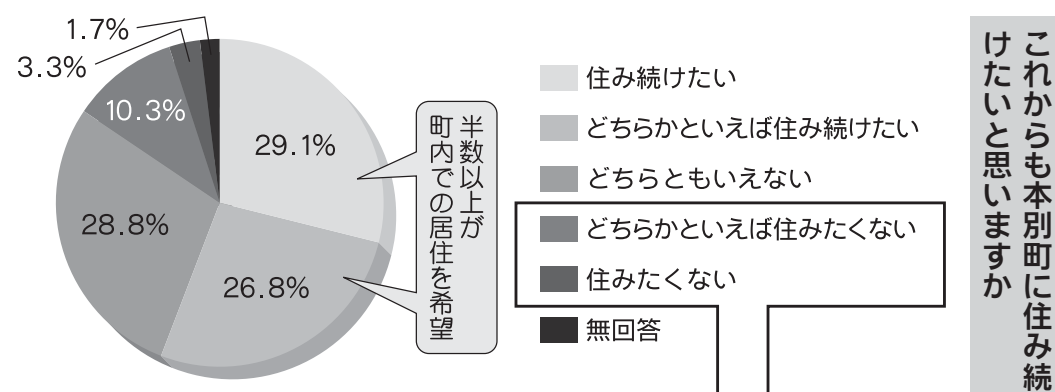
問2 人口減少の意識

本別町の人口が減少していくことについて



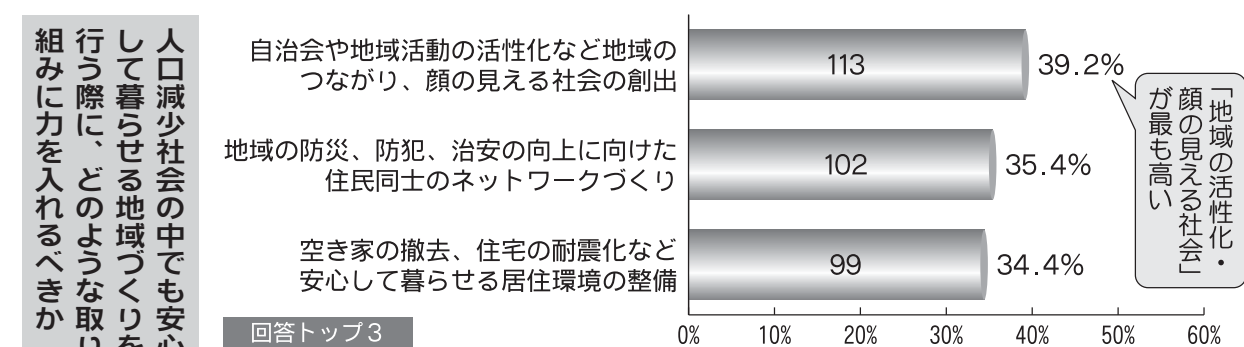
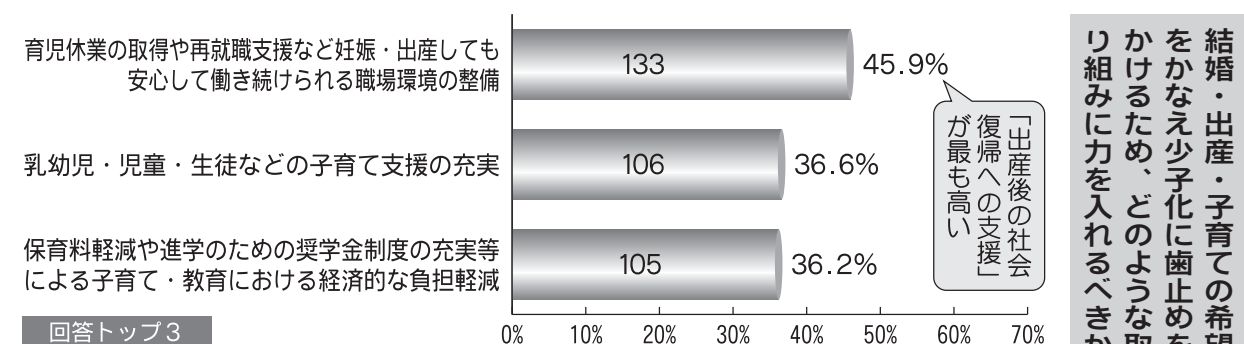
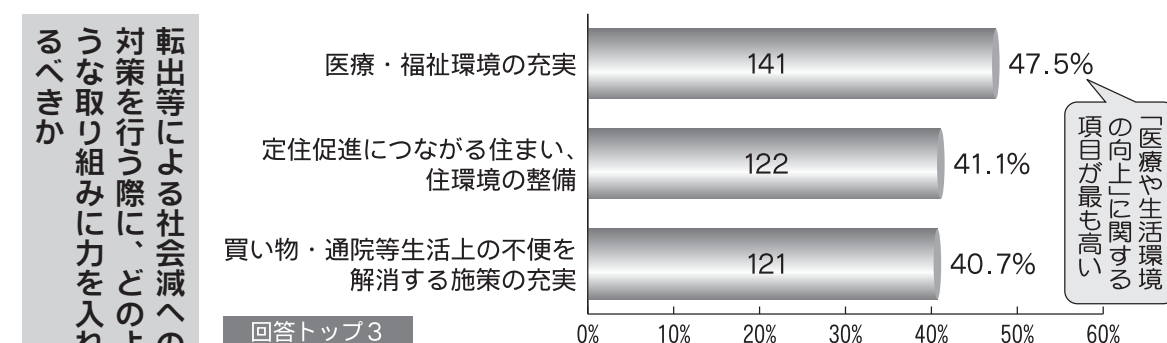
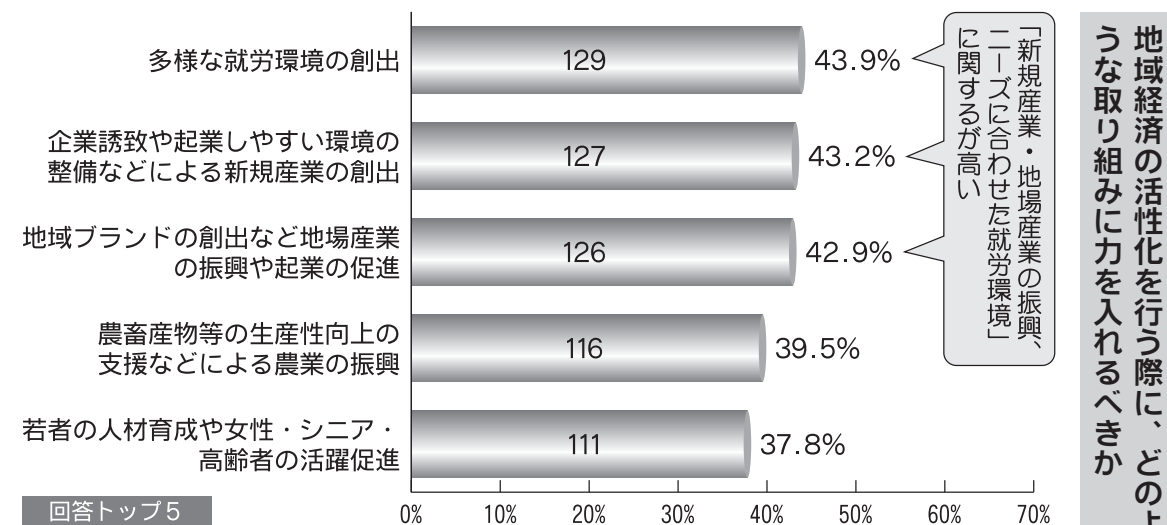


問4 第6次本別町総合計画に係るまちづくりについて



企画振興課 企画・生涯学習担当 ☎22-8121

問3 人口減少対策の具体的な取り組み





成人式



ほんべつ学びの日フェスティバル



オーストラリア



ミッチェル訪問団



本別空襲を語り継ぐ



ほんべつ学

教育行政の進むべき方向性

町教育委員会では、「平成26年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」を作成しました。これは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定

平成26年度教育委員会活動状況点検・評価報告書（抜粋）

平成26年度教育委員会の活動状況

▼教育委員会会議の開催状況
（1）毎月1回の定例会議および臨時会議
合計14回（57議案議決）
※うち、移動教育委員会会議を、町内小中学校で3回開催

法規・規則等の制定および改正状況

（1）教育委員会関係
条例の制定3件
規則の制定1件
規程の改正1件
要領の改正1件
条例の改正1件
規則の改正8件
要綱の制定1件

▼教育委員の活動状況

（1）教育委員会関係事業 計40日・延べ80人
（2）各学校関係各種事業 計13日・延べ29人

▼各審議会等審議概況

（1）社会教育委員会 1回
（2）スポーツ推進委員会 4回
（3）文化賞審議会 1回
（4）スポーツ賞審議会 1回
（5）学校給食運営委員会 1回

▼教育費予算の状況

平成26年度の一般会計教育費の最終予算額（人件費等含む）は7億5117万1000円で、一般会計予算総額に占める割合は10・8％となりました。

自己点検評価

教育委員の主な活動としては、定例および臨時の教育委員会会議を開催し、教育行政推進の方向性や施策の構築に向けた協議や審議を行い、実質的な教育行政の決定機関としての機能を十分に果たしてきました。また、各小中学校に出向いて移動教育委員会会議を開催し、学校

運営の現状や課題等についての認識や理解を深めるなど、教育委員会活動の活性化を図ってきています。教育行政の推進については、本町が進める生涯学習によるまちづくりの観点から、「ほんべつ学びの日」の普及活動に努め、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係部局や関係機関・団体と連携を図りながら、幼児から高齢者まで幅広い取り組みとなるよう努めています。また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が平成26年6月20日に公布されたことから、関係条例の制定や改正などを行うとともに、「政治的中立性の確保、継続性・安定性の確保、地域住民の意向反映」を基本理念に教育行政を推進してまいりました。

今後の方向性

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が平成27年4月1日から施行され、地方公共団体に総合教育会議の設置が義務付けられたことから、首長と地域教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政を執行するため、本町の実情に応じた教育、学術および文化の振興に関する基本的な方針や講ずべき施策の大綱「本別町教育行政大綱（仮称）」を定めてまいります。今後も引き続き、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、教育委員会的重要性と教育委員の役割についての認識を高め、町民の皆さんに信頼される教育委員会として教育行政の執行に努めてまいります。

「平成26年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」の全文については、本別町公式ホームページでご覧になれます。
http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/public/cat3/post_48.html

問い合わせ先
教育委員会管理課総務担当
0222-22331

国民年金

万が一のときに暮らしを支える

年金制度

年金制度は、老後の所得保障だけでなく、病気やけがで身体に障がいを負ってしまったときや一家の働き手が亡くなったときなど、あなたを強力にサポートします。今回は、不測の事態にあなたを助ける制度を紹介します。

不測の事態に備えます！

障害基礎年金

国民年金加入中、病気やけが、あるいは20歳前に病気やけがで障がいの状態になったときに、一定の要件を満たすことで支給されます。

●年金額（平成27年度の額）
年額 97万5100円（1級）
78万100円（2級）

配偶者に先立たれたら…

遺族基礎年金

国民年金加入中に死亡または老齢基礎年金を受ける資格期間を満たした人が死亡したとき、その人によって生計を維持されていた子のある配偶者、または子に支給されます。

※子とは、18歳に到達した年度末までの子、20歳未満で障害年金の障害等級1級または2級の子

障害・遺族基礎年金を受けるための保険料納付要件

・初診日または死亡日の属する月の前々月までの被保険者期間のうち、保険料納付済み期間（免除期間、学生納付特例期間を含む）が3分の2以上あること
・初診日または死亡日において65歳未満で、初診日または死亡日の属する月の前々月から過去1年間に保険料の未納がないこと
※いずれの場合も、国民年金保険料の未納期間があると、年金が受け取れないことがあります。経済的な理由等により保険料の納付が難しい場合は、住民課戸籍年金担当へご相談ください

詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
0222-8128

◆職員に対する手当の状況

① 期末手当・勤勉手当

	本 別 町		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
1人当たり 平均支給額 (平成26年度)	1,490千円		—	
平成26年度 支給割合	2.60月分 (1.45)月分	1.50月分 (0.70)月分	2.60月分 (1.45)月分	1.50月分 (0.70)月分
加算措置 の 状 況	職制上の段階、職 務の級等による加 算措置 ・役職加算 5％～15％		職制上の段階、職 務の級等による加 算措置 ・役職加算5～20％ ・管理職加算10～25％	

(注) () 内は、再任用職員に係る支給割合である。

② 退職手当

(平成27年4月1日現在)

支給率	本 別 町		国	
	自己都合	勤奨・定年	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445月分	25.5563月分	20.445月分	25.5563月分
勤続25年	29.145月分	34.5825月分	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.59月分	41.325月分	49.59月分
最高限度額	49.59月分	49.59月分	49.59月分	49.59月分
その他の 加算措置	定年前早期退職特例措置 (2％～20％)		定年前早期退職特例措置 (3％～45％)	
1人当たり 平均支給額	16,758千円			

(注) 退職手当1人当たりの平均支給額は、前年度に退職した全職種の職員に支給された平均額である。

③ その他の手当 (普通会計)

(平成27年4月1日現在)

手 当 名	内 容 及 び 支 給 単 価	国の制度 との異同	国の制度と 異なる内容	支給実績 (平成26年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (平成26年度決算)
扶 養 手 当	配偶者 13,000円 扶養親族たる子および父母等1人につき 6,500円 職員に配偶者がいない場合1人 11,000円 扶養親族たる子15歳から22歳まで 5,000円加算	同 じ		14,500千円	198,630円
住 居 手 当	〔借家〕月額16,000円以下の家賃⇒家賃の月額－5,500円 月額16,000円を超える家賃⇒ (家賃の月額－16,000円)の2分の1(2分の 1限度額9,500円)に10,500円を加算 〔持家〕月額15,000円以内(新築10年間2,000円加算) 新築20年経過以降 月額10,000円以内	異なる	〔借家〕 借家限度額 27,000円 〔持家〕 なし	18,913千円	173,513円
通 勤 手 当	〔交通機関利用〕月額限度額 50,000円 〔交通用具利用〕片道5km未満 2,000円 5km以上～10km未満 4,200円 10km以上～15km未満 7,100円 15km以上～20km未満 10,000円 20km以上 12,900円	異なる	〔交通機関利用〕 55,000円 〔交通用具利用〕 20km以上60kmま で5km刻みで支 給額を設定	1,865千円	54,852円
管理職手当	12% 院長、副院長、医長 10% 課長、室長、事務局長 9% 主幹 8% 課長補佐、次長	異なる	課 長 職 定額 課長補佐職 定額	12,544千円	432,551円
夜 勤 手 当	25%増し	同 じ		209千円	41,800円
宿日直手当	1回 4,200円	同 じ		1,689千円	120,642円
寒冷地手当	〔世帯主〕扶養親族のある職員 131,900円 扶養親族のない職員 72,900円 〔その他の職員〕51,700円	同 じ		13,629千円	101,708円

◆特別職等の報酬等の状況

(平成27年4月1日現在)

区 分	給料または報酬の月額	期末手当の支給割合
給 料	町 長 747,000円	6月 1.975月分 12月 2.125月分 合計4.10月分 加算措置：当分の間支給停止
	副 町 長 616,000円	
	教 育 長 562,000円	
報 酬	議 長 292,000円	6月 1.975月分 12月 2.125月分 合計4.10月分 加算措置：当分の間支給停止
	副 議 長 230,000円	
	議 員 185,000円	

問い合わせ 総務課庶務担当 ☎22-8120

公平性・透明性を目指して

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧になれます

本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します

公務員制度の公平性、
透明性の確保などを目的に給与等の
状況のほか人事行政の運営等、各市町村の制度が
どのようになっているかを公表することが
地方公務員法で義務付けられています。
町民の皆さんに町職員の給与などの
概要をお知らせいたします。

◆一般行政職の平均給料月額、 平均年齢の状況

一般行政職 (平成27年4月1日現在)

区 分	平均給料月額	平均年齢
大 学 卒	299,000円	39.7歳
短 大 卒	346,300円	45.6歳
高 校 卒	319,300円	42.3歳
中 学 卒	347,000円	46.3歳
全 平 均	314,400円	42.4歳

(注) 「平均給料月額」とは、平成27年4月1日現在における一般行政職の基本給の平均である。

◆一般行政職の職級別職員数

(平成27年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	前年度(平成26年4月1日現在)	
				職員数	構成比
1級	主事、技師、主事補	18人	16.4%	11人	9.8%
2級	主事、技師	7人	6.4%	7人	6.2%
3級	主査、副主査、主任	23人	20.9%	29人	25.9%
4級	主査、副主査	35人	31.8%	34人	30.4%
5級	課長、室長、課長補佐、 次長	15人	13.6%	18人	16.1%
6級	課長、室長、事務長、 事務局長	12人	10.9%	13人	11.6%
合 計		110人	100.0%	112人	100.0%

(注) ・本別町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
・標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。
・平成19年度から6級制に移行。

◆職員の初任給の状況

(平成27年4月1日現在)

区 分		本 別 町		国	
		初 任 給	2年後の給料	初 任 給	2年後の給料
一般行政職	大 学 卒	174,200円	186,100円	174,200円	186,100円
	高 校 卒	142,100円	150,500円	142,100円	150,500円

◆職員の給与の状況

人件費の状況 (普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (平成27年1月1日現在)	歳 出 額 A	実質収支	人 件 費 B	人件費率 B/A	(参考) 平成25年度の人件費率
26年度	7,733人	6,939,741千円	127,574千円	1,374,110千円	19.8%	17.6%

部活動 加入率90%以上！ ～輝く場所がここにある～

本別高校には現在、弓道部、剣道部、バスケットボール部、バドミントン部、バレーボール部、陸上競技部、テニス部、野球部、サッカー部、吹奏楽部、美術部、新聞局、図書局、放送局、ボランティア、家庭科同好会、茶道同好会の活動があり、高い加入率を誇ります。部活動は、「継続性と粘り強さが身に付く」「専門分野ができる」「学習成績以外で実績を残せる」「学年を超えた人の輪を持てる」など、「自己鍛錬の場、学びの場」として、大きな意義のあるものです。

在校生の声

バスケットボール部

丹野 聡明 部長（2年A組）

僕たちバスケットボール部はプレイヤー8人、マネージャー4人で活動しています。多くの部員が初心者であるため、まず、基礎・基本の練習を怠りません。特にシュート力の向上に力を入れており、毎日3ポイントシュートの練習を100本打つなどして頑張っています。3年生が引退後、新チームとなって初めての大会となる新人大会に向けて1勝でも多く勝ち進めるよう、チーム一丸となって練習に励んでいます。



弓道部

宮野 真衣 部長（2年B組）

私たち弓道部は、現在11人で活動しています。3年生の引退後は1・2年生の新チームとなり、全道優勝を目標に日々練習に励んでいます。1本1本の矢を的に当てることは容易なことではなく、高い集中力が必要となります。私たちは常に実戦を意識しながら試合形式の練習を取り入れるなどの工夫を欠かしません。地域の指導員の方のお力も借りながら、技術と精神力の向上に努め、目標達成のために頑張ります。



問い合わせ 北海道本別高等学校 ☎22-2068

本別高校では知・徳・体のバランスのとれた「たくましく生きる」ことができる人材育成のため年間行事を実施しています。詳しくは本別高校ホームページにも記載されていますのでご覧ください。
10月9日（金）には強歩大会（本別高校⇄美里別公民館）が行われます。ぜひ沿道に出て応援をお願いします。

3月	2月	1月	12月	11月
● 修了式 ● 球技大会 ● 卒業式	● スキー授業 ● 学年末考査	● 卒業考査 ● 休み明けテスト ● センター試験 ● 大学入試 ● 卒業考査 （3年生）	● 冬季休業 ● 冬期講習	● 見学旅行 ● 後期中間考査



強歩大会



スキー授業



見学旅行



職場体験学習

本別高校で 夢！実現



本別高校では、生徒会活動の中に11の部活動、4つの外局、2つの同好会があり、全校生徒145人中、133人が加入し91.7%と高い加と率を誇ります。同校では、在校中に部活動等を継続して活発な活動に取り組んだ生徒に、自身の進路希望を実現させた人が多い特徴を持っています。本号では、部活動等の様子と学校行事について紹介します。

部活動の 今年度成績

本別高校の部活動への加入率は以前から高く、そのため部活動は活発で数々の輝かしい実績を残してきました。今年度の全道大会等への出場では、高体連全道剣道：個人戦に1人、高体連全道弓道：個人戦へ2人、高体連全道水泳200m背泳、100m背泳に1人のほか、高文連全道吹奏楽：十勝合同オーケストラに3人が選抜されました。



吹奏楽部

学校生活 年間スケジュール

10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
● 職業体験学習 ● 強歩大会 ● 芸術鑑賞	● 前期期末考査 ● 開校記念日	● 休み明けテスト ● 体育大会	● 夏季休業 ● 夏期講習 ● 学校祭 ● 前期中間考査	● 高野連壮行会 ● 野球全校応援 ● 宿泊研修 （1年生） ● 高体連支部大会	● 高体連壮行会 ● 高体連支部大会	● 入学式 ● 対面式 ● 生徒総会



学校祭仮装パフォーマンス



宿泊研修



入学式

本別町全域（本別市街地の

公共下水道区域を除く）で

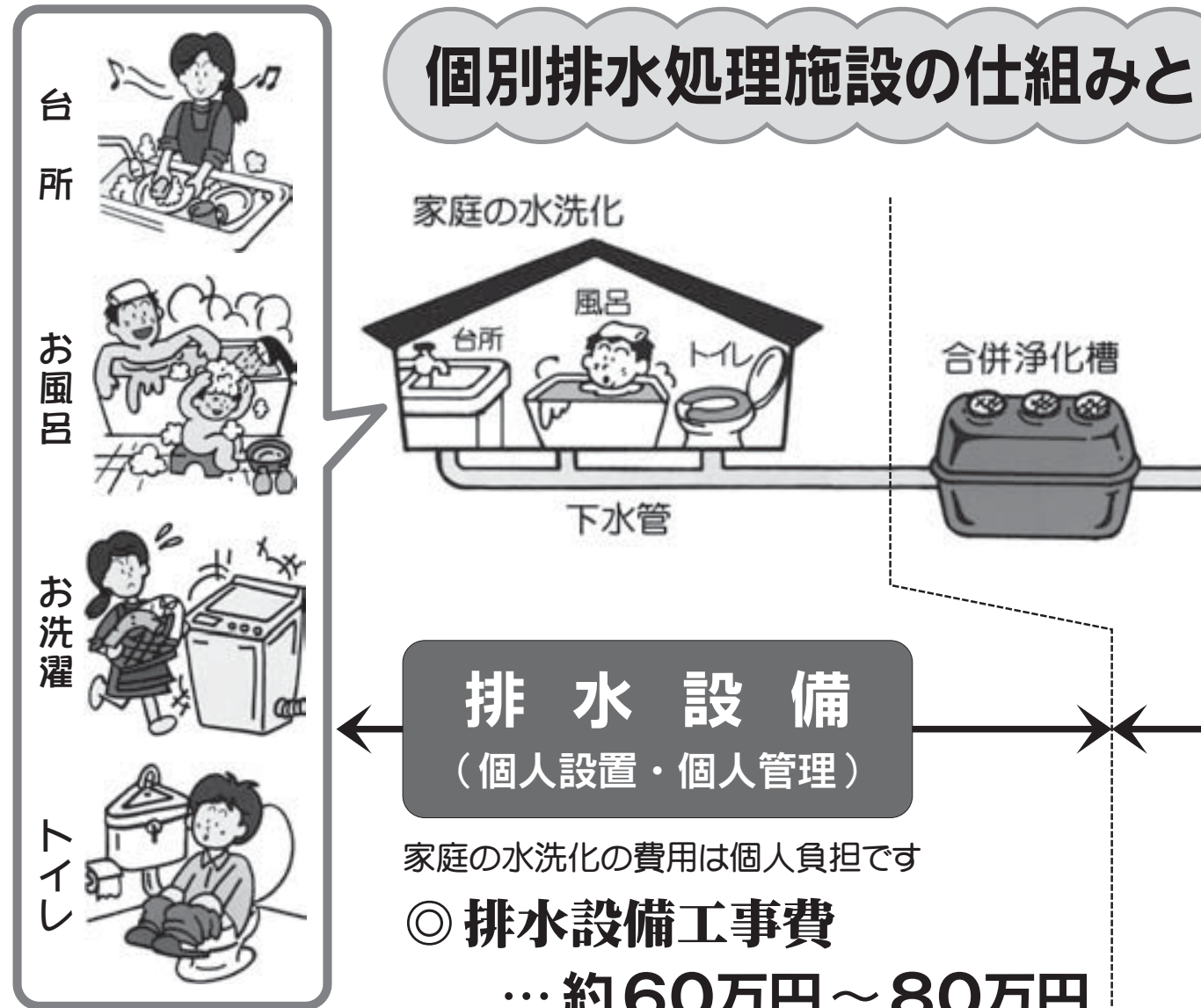
合併浄化槽が設置できるよう

平成11年度から農村部に合併浄化槽を設置する事業を実施してきましたが、平成17年度から農村部に加え、勇足元町・仙美里元町・上本別地区も設置できるようになりました。トイレの水洗化によって、より快適な生活環境を目指すほか、家庭から出る生活排水を浄化して公共用水域の水質の汚れやにりを防止するのが目的で、合併浄化槽は個人下水道とも呼べる恒久的な施設です。合併浄化槽が設置できる地域は、本別市街地の公共下水道区域を除く本別町全域で、これによりすべての町民（公共下水道区域の未整備区域を除く）がトイレの水洗化および生活排水の処理が可能になります。

平成28年度に設置を希望する人は、平成27年11月末日までにお申し込みください

個別排水処理施設の仕組みと

受益者が負担する金額



排水設備 （個人設置・個人管理）

家庭の水洗化の費用は個人負担です

◎ 排水設備工事費
… 約60万円～80万円

（トイレの改造、給水、屋外排水管などの工事で、
家の間取り、便器の種類などにより異なります）

排水設備工事の融資制度 （住宅1戸につき便器2基まで）

区 分	金 額	適 用
融資制度	60万円以内 （便器1基につき）	月1万円の均等償還 （無利子）

新築の場合は該当となりません



個別排水処理施設 （町設置・町管理）

◎ 設 置 時 受益者分担金

- ※10人槽までは100,000円
- ※11人槽以上は、1人槽増すごとに15,000円を100,000円に加算した額となります
（翌年度から年4期、5年分割の20回払い）

◎ 設 置 後

● 使用料（毎月）

5人槽…3,183円	浄化槽の 汲み取り・点検は 町で行います
7人槽…3,982円	
10人槽…5,163円	
11人槽以上…10人槽の料金に1人槽増すごとに432円を加算した額	

- 電気料（毎月）…… 約800円～1,800円
（5人槽～10人槽の場合）
浄化槽内のばっ気のためのもので浄化槽の規模により異なります



落語家「三笑亭夢之助」師匠や「林家源平」師匠、三味線弾きうたいの「桧山うめ吉」さんを招いた、ほんべつ寄席（町芸術文化事業振興会主催）が8月29日、中央公民館で開催されました。

軽妙な話術の 落語を堪能

最初に大きな拍手で登場した林家源平師匠が、「がまの油」の落語や身近な話題を面白く紹介し、会場を笑いに誘いました。続いて、桧山うめ吉さんが、三味線を弾きながら小唄を披露。寄席のトリでは、上川管内南富良野町出身の三笑亭夢之助師匠が、「蒟蒻（こんにゃく）問題」という古典落語を披露したほか、幼少時の生活や落語家を目指して上京し弟子入りするまでのエピソードを面白おかしく語りました。会場に詰め掛けた約300人の観客たちは、軽妙な話術で語られる落語を堪能し、笑いの渦に引き込まれていました。



笑いの渦に引き込まれる観客



林家源平師匠



桧山うめ吉さん



三笑亭夢之助師匠



「ほんべつ肉まつり2015」（実行委員会主催＝小笠原徹実行委員長）が8月23日、義経の里本別公園ステージ前で開催されました。



好みの肉を買い求める来場者



鉄板焼きステーキの実演販売



希少部位の当たる「お肉ダーツ」

1,900人の来場者が 本別産和牛や 地場産の肉を堪能

このイベントは、町内の若手畜産農家が地元で生産された肉の魅力を広くPRしようと企画し、今年で3回目の開催となりました。当日は好天に恵まれ、町内外から友人同士や家族連れなど約1900人が来場し、用意された本別産の本別和牛や美蘭牛、太郎豚のほか、旧ふるさと銀河線沿いの町村で生産された牛肉や羊、鶏肉、ゲスト肉として幻の肉と言われる宮崎県尾崎牛（黒毛和牛）など、好きな肉を買い求めては会場に設置された焼き台で焼き、地場産の肉の味を堪能しました。

会場では、羊の丸焼きや鉄板焼きステーキ、白糠町の海産物や地元の特産品、十勝地サイダーが販売されたほか、ステージ上では、ライブショーや肉の希少部位の当たるお肉ダーツ、大抽選会なども行われ、来場者たちはおいしい肉を味わいながら楽しい1日を過ごしました。

楽しく運動

8/27

町スポーツ推進委員3人の指導によるコーディネーション運動教室が8月27日、本別カトリック幼稚園（岩渕つ子園長、35人）で行われました。これは、運動能力が伸びると言われる5歳前後の子供たちの運動習慣のきっかけをつくろうと実施されたもので、園児らは足を広げてジャンプしたり、チームに分かれてフープくぐりやボール投げ競争などに挑戦。汗びっしょりになりながらも元気いっぱいに楽しく体を動かしました。



ハツラツプレーで ギャラリーを魅了

8/23

「第2回本別ラグビー祭」が8月23日、太陽の丘ラグビー場で開催されました。このイベントは、十勝クラシックラグーと本別のラグーマンが共同で、ラグビーの振興と交流のために企画されたもので、美幌から参加したチームをあわせた3チームで熱戦を繰り広げました。この日は晴天に恵まれ、選手たちは元気いっぱいのハツラツとしたプレーで、町内外から訪れた90人を超えるギャラリーを魅了していました。



新規就農者らを激励

8/27

平成27年度の新規就農者激励会（町、JA本別町主催）が8月27日、JA本別町庁舎で開かれました。今年度の激励会には、町内にUターンや結婚で新規就農した単身者3人と夫婦3組の計9人が参加。町やJA本別町職員、農業委員会など農業関係者27人が出席し新規就農者らを激励しました。懇親会で就農者らは、それぞれ自己紹介の後「農業のことをもっと勉強して、早く一人前になりたい」「農業と子育てを両立して、主人をサポートしていきたい」などと抱負を語りました。



和牛肉おいしい!

8/24・25

ほんべつ肉まつり実行委員会（小笠原徹実行委員長）から寄贈を受けた牛肉を使った給食が8月24日・25日、町内保育所や小・中学校等で提供されました。寄贈いただいたお肉は、本別和牛肉35kg。中央・南保育所では24日に「すきやきふう」に、小・中学校等では25日に「ビーフストロガノフ」の食材として調理され、子供たちは「おいしい!」と笑顔をほころばせながら地元食材を堪能しました。この他、本別カトリック幼稚園にも焼き肉用の肉として3kgが贈られています。



学校教育目標

- ◇よく考える子
- ◇思いやりのある子
- ◇ねばり強い子
- ◇明るく元気な子

勇足小学校（吉藤清孝校長・全校児童48人）は、校区の豊かな自然や地域住民とのふれあいを生かした「特色ある教育活動」を色々と展開しております。今年度からは、近隣の勇足中学校との連携を深め、算数・数学、体育、外国語活動において、中学校教諭との乗り入れ授業や合同授業などを積極的に行っています。

地域連携の取り組み



4/24 地元の林業団体と一緒にシイタケ
植菌作業を体験



6/18 地域のお年寄りと一緒に地域の川
でニジマス釣りの体験



7/10 体育教諭の指導のもとで、新体力
テストに挑む児童



6/5 JA青年部と一緒に学校水田での
田植えの体験



9/3 警察署員と一緒に運転手へ安全運
転を呼びかける児童



7/16 学習のまとめとして、専門的なア
ドバイスを加える数学教諭（右）

小中連携の取り組み



クイズで交通ルールを楽しく学ぶ 9 11

本別中央小学校（帰山孝美校長・238人）の全校児童を対象に秋の交通安全教室が9月11日、同校で行われました。本別警察署地域交通課交通係對馬大介主任の指導のもと、児童らは自転車に乗るときのルールや安全な乗り方、道路での危険予測などについて、



○×クイズで楽しく学んだほか、自転車で事故を起こさないための注意事項について説明をうけました。

日頃の練習の成果を披露 9 12

東日本大震災復興支援第44回本別町音楽祭（町文化協会・中央公民館主催）が9月12日、中央公民館で開かれました。出演した町内の6団体3個人の総勢85人は、吹奏楽やピアノ、エレクトーン演奏など日頃の練習の成果を披露。来場した約230人の観客から演奏が終わるたびに温かい拍手が送られていました。また、会場入口に設置された募金箱には、震災復興を支援する義援金9,611円が集まりました。



自慢の味覚をPR 9 12・13

白糠町で9月12日・13日に開かれた「カミングパラダイス」に本別町観光協会が出店し、豆や野菜など本別自慢の味覚をPRしました。販売したのは、本別産の生豆やキレイマメ商品の味噌、豆腐のほか、トマト、なす、長ネギ、じゃがいもなど新鮮



野菜や加工品。本別物産コーナーのテントには、イベント開始直後から多くの来場者が詰め掛け、大変にぎわいました。

交通安全を呼び掛け 9 10

町商工会女性部（新津直子部長）の会員7人が9月10日、北8丁目ふれあい公園で交通安全キャンペーンを行いました。会員らは、道行くドライバーへ交通安全啓発チラシや北4丁目の夏川ケイ子さんが交通安全の願いを込めて手造りした巾着袋など100セットを手渡し、「安全運転をお願いします」と声を掛けながら交通安全を呼び掛けました。



親子で楽しいばまキッズまつり 9 11

家庭教育支援事業「なかよし」によるばまキッズまつりが9月11日、子育て支援センターで開かれました。今年も、普段子供たちが遊んでいる広いお部屋のなかに、お菓子くじやゼリーすくいなどのゲームコーナーが設けられたほか、町内のママたちによる手作り品のお店などが多数出店。町内3団体による人形劇や絵本の読み聞かせなども行われ、参加した73人の親子らがお買い物を楽しむなど、お祭り気分を満喫しました。



健康長寿のまちづくり会議 9 7

健康長寿のまちづくり会議（井出壬午会長、22人）が9月7日、総合ケアセンターで開催されました。任期満了に伴う改選後初の開催となったこの日は、初めに高橋正夫町長から出席した委員20人へ辞令書を交付。引き続き、互選により会長に井出壬午さん、副会長に佐藤猛さん、水谷令子さん、事務局長に池田健さんが決定しました。



吉川 茂さん 100歳おめでとうございます 9 10

吉川茂さん（東下2）が9月10日に100歳を迎えられ、高橋正夫町長から敬老祝金と商品券が手渡されました。

茂さんは大正4年9月10日に本別町で生まれ、妻の故清子さんと農業を営みながら、1男4女のお子さんを育て、孫9人、ひ孫8人に恵まれました。平成26年からはアメニティ本別に入所しており、お祝いのこの日は長男の吉川光章さん、長女の山田矩子さんら家族4人が駆け付けました。茂さんが100歳を迎えられたことについて、光章さんは「戦争を体験している中、すごい生命力だと思う。将棋が得意で頭を使っていたことや、うどんが好きだったことが長生きの秘訣では。施設職員の皆さんにもお世話になり感謝します」と喜びの気持ちを語りました。



夏祭りで楽しいひととき 8 29

清流の里・あいの里交流センターによる地域交流夏祭りが8月29日、同施設駐車場で開催されました。お祭りには、施設職員などによる屋台や恒例の流しそうめん、射的やヨーヨー釣りなどの催しが用意されたほか、義経太鼓保存会による迫力ある太鼓演奏が披露されました。今年は、近隣住民のほか、勇足のゆうあいの里や仙美里の陽だまりの里の利用者なども訪れ、約200人がお祭り気分を味わいながら楽しいひとときを過ごしました。



チャレンジデー金メダル受賞を報告 9 2

5月27日に開催されたチャレンジデー2015で金メダルを受賞した、本別町チャレンジデー実行委員会（大西光夫実行委員長）が9月2日、役場を訪れ、高橋正夫町長に受賞を報告しました。大西実行委員長は、「3年連続で金メダルを獲得できたのも自治会や団体など町民の皆さんの協力のおかげです」と受賞の喜びを語りました。



みんなの健康

374

平成23年度全国市町村の平均寿命が健康管理センターから報告されました。本町の男性は79・0歳（主道79・2歳・全国79・6歳）、女性は86・9歳（主道86・3歳・全国86・4歳）で、女性は全国平均より長

本別町の男性の命が危ない!?

昨年の特健診

（40歳以上）の血液検査結果で、男女とも糖尿病、さらに男性は中性脂肪、血中コレステロール、尿酸が高い人が多く、当然としてメタボリックの該当者も19・4%（全国平均16・5%）と多くなっています。喫煙率も20・5%（全国平均14・5%）と高いことがわかりました。この喫煙と糖尿病は、歯周病との関連が深く、どちらも歯周病を悪化させることが分かっており、それによって口腔内の細菌が増えて、高齢者の死因のひとつである嚥下性肺炎になる確率が高くなります。

福祉の町本別では、いつまでも介護を受けずに自力で生活をしていただこうと、介護予防事業が行われています。その中の「元氣いきいき教室」では、私たち歯科医と歯科衛生士が協力し口腔ケアを行い、著しい成果が上がっており、介護認定者率は65歳以上で17・6%（全国平均20%）と少なくなってきたとあります。ただ残念なことに、この教室の参加者の90%以上が女性で、男性はほとんど参加されていません。積極的に健康に関する知識を吸収する意欲的な姿勢が、本別町の女性の長寿を支えている要因のひとつであると言えるでしょう。そ

んな女性の寿命に追いつき追い越すために、本別町の40歳以上の男性に生活習慣を変える

- 5つの目標を提案させていた、たきます。
1. 1日30分の歩行
2. 健康教室等への積極的参加
3. 食事は、腹8分目
4. 禁煙
5. 歯周病の定期検診

この5つの目標を守れば、平均寿命は全国平均を上まわることば間違いな

院院長 河合篤史

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育つね！



緑町 廣尾 幸輔 (智美ママ)



活込 齊藤 舞衣 (美香ママ)



北8丁目 芹沢 陽葵 (春奈ママ)



勇足東4 山下 桜里奈 (智美ママ)



※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

ご寄付ありがとうございます

平成27年8月16日から9月15日

次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町産業振興基金指定
金50,000円
…………… 本別ひまわり愛好会 代表 背戸田利光
- ★本別町公共施設等整備基金指定
金3,272円 …………… 匿名
- ★本別町スポーツ振興基金指定
金6,232円 …………… アリスト本別会
- ★本別町国民健康保険病院医療施設等整備基金指定
金50,000円 …………… 勇足東1 嶋崎節子
- ★特別養護老人ホーム物品購入費指定
金50,000円 …………… 勇足元町 武田有功
金50,000円 …………… 勇足東1 嶋崎節子

- ★本別町指定
焼砂 4kg×1,000袋 …………… 帯広市
道路工業株式会社 十勝営業所 所長 星野黒義明
- ★町内保育所・学校給食共同調理場指定
本別和牛 35kg
… ほんべつ肉まつり実行委員会 実行委員長 小笠原 徹
- ★老人ホーム指定
トマト 15kg、タオル 50本
…………… 勇足西4 逸見孝雄
介護用品一式 …………… 栄町 小野里登美子
紙おむつ 60枚、シルバーカー 1台
…………… 勇足元町 我妻恵子

- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
- 金20,000円 …………… 札幌市 吉田義三
 - 金10,000円 …………… 岩見沢市 磯部和宏
 - 金10,000円 …………… 大阪府 川村新一郎
 - 計 金320,000円 …………… 匿名 26人



銀河ホストライズ

一足寄町・陸別町からー

足寄町

第10回道の駅まつり

第14回大収穫祭・

秋の物産市

あしよる銀河ホール21を会場に、フリーマーケットなどのほか、足寄町の農産物や特産品を販売し、足寄町の味覚をPRします。

□とき 10月25日(日) 午前9時ー

□ところ あしよる銀河ホール21 前

□詳細 あしよる観光協会 2516131



陸別町

第54回

陸別町文化祭

町民による絵画、写真、書道、手芸などの作品や芸能発表をお楽しみください。皆さんのご来場をお待ちしております。

□とき 10月29日(木)ー 11月1日(日)



○展示部門 (タウンホール) 10月29日(木)ー31日(土) 午前9時ー午後6時

○行事部門

- ・陶芸ボランティアセール (役場庁舎1Fロビー) 10月31日(土) 午前9時ー午後4時
- ・婦人会ボランティアバザール (保健センター) 10月31日(土) 午前11時ー午後2時

○芸能発表 (タウンホール) 11月1日(日) 午後1時ー午後3時30分

□詳細 陸別町教育委員会 2712123

戸籍のまど

お誕生

奥 心優梨^{みゆり} 幸宏^{さひろ} 8/25 向陽町
晴美^{はるみ}

おくやみ

久常美代子^{ひさなるみよこ} 97歳 8/22 勇足西4
祢津 則 男^{ねつ のお} 73歳 8/22 南4丁目
吉川 勲^{よしかわ 勲} 85歳 8/26 仙美里1
佐々木初男^{ささき はつお} 92歳 8/31 清 里
井出きよ子^{いで きよこ} 93歳 9/1 北1丁目
土 藏 一 朗^{つちざね いちろう} 81歳 9/4 美里別西中
門脇 恭 助^{かたわき きんすけ} 97歳 9/11 北8丁目

わたしたちのまち

前月比

人 口 7,582人(−4)

男 3,735人(−3)

女 3,847人(−1)

世帯数 3,733戸(−2)

〔8月末日住民基本台帳〕

本のある暮らし

175

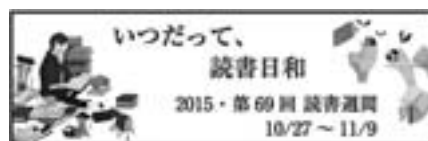
読書からひろがる「いろいろの秋」

～読書週間にむけて～

本を手にとってみませんか？ ページをめくってみませんか？ 知識の森や想像の世界を旅してみませんか？

図書館でさまざまな本と出会い、すてきな秋を過ごしましょう。

ぶっくるカフェでコーヒーを飲みながら、いかがですか？



お勧めの本を紹介

★読書の秋

『葉っぱのフレディー いのちの旅ー』
レオ・バスカーリア／作

枯葉の季節にぴったりの「いのち」を考える絵本。子どもから大人まで読んでほしい名作です。



★芸術・食欲の秋

『味な映画の散歩道』 池波正太郎／著

名作の背景にあった映画と食。昭和の大作家が人生至福のひとつを語ります。



★スポーツの秋

『100歳まで元気に歩ける体づくり75のコツ』
「きょうの健康」番組制作班／編

代謝が高まる季節、気軽に体を動かして、元気になりましょう！



※図書館の読書週間イベントは、10月15日号くらの情報紙「かけはし」でお知らせします

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称：ぶっくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112